

# R6 テクノエイド・災害リハビリテーション研修会

主催：福島県地域リハビリテーション支援センター  
福島県立医科大学 林 哲生



## 第53回 BHELP 標準コース web コース



**BHELP**(BasicHealth Emergency Life Support for Public)とは、  
「被災地での活動を効果的・効率的に実践するために災害対応における知識、共通の言語と原則を理解し、被災者の生命と健康の維持、災害発生直後からの被災地内での災害対応能力の向上に資すること」を目的とした日本災害医学会の教育コースです。

**日 時**: 2024年10月27日(日)9時00分～16時30分

開催方式: web 開催 (使用ツール: Zoom®[<https://zoom.us/>]) ※ 通信環境の準備はご自身でお願いいたします

受講対象: 被災地域内で発災直後から支援者となり得る 医療・保健・福祉に関連する専門職

**募集人数**: 24 名 申込締切り: 9月15日(日)24時

\* 定員を超えた場合多い場合は、主催側が各施設からの参加者を限定いたします。

\* 福島県地域リハビリテーション広域支援センター、相談センターから優先的に受講者を決定させていただきます。

学会への事務手数料: 2,000 円(事前振込) 参加費は無料ですが、学会への事務手数料が必要です。

\* 受講採択の連絡時に振込先をご案内します。入金確認後、受講確定となります

コース運営責任者: 野村 潤(所属: 福島県立医科大学附属病院)

主催: 福島県地域リハビリテーション支援センター(福島県立医科大学附属病院)

### 【コース概要】

軸は **CSCAHHH: Healthcare Triage**(ヘルスケア・トリアージ)、  
**Helping Hand**(手を差し伸べる)  
**Handover**(つなぐ)

#### 1) 講義

- ・災害医療体制の概要と医療対応の原則
- ・避難所、福祉避難所の概要、体制構築および運営上の留意点
- ・避難所の環境改善に必要な情報収集のためのアセスメントシートの活用
- ・避難所生活により生じやすい健康問題とその予防法
- ・被災地域内外の支援者との連携協力

2) 演習: 講義で学習した内容を活用して、以下の演習を行います。

- ・トリアージ・保健福祉的視点によるトリアージ・CSCAを意識した対応
- ・アセスメントシートを活用した避難所の情報収集と評価・避難所のレイアウト

【申込方法】下記URLまたはQRコードからお申込ください

[災害医療イベントポータルサイト D-PORT \(mcls.jp\)](https://mcls.jp)



\* お申込みの際はパソコン用のメールアドレスでのご登録をお願いいたします(携帯アドレスは不可)

\* 受講の採択は、申込み時に登録されたメールアドレスにご連絡致します。

【お問い合わせ】 日本災害医学会 BHELP 運営委員会 [jadm\\_bhhelp@yahoo.co.jp](mailto:jadm_bhhelp@yahoo.co.jp)  
主催者、学会事務局では対応しておりませんのでご注意ください